

4

特集 エキスパートに聞く「糖尿病診療の質を高めるアイデアと工夫」

高齢者糖尿病の診療の質を高める工夫

荒木 厚

東京都健康長寿医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科

75歳以上の後期高齢者は、高齢者のなかでも認知機能障害、身体機能低下、心理状態の悪化がみられることが多くなり、服薬数も多く、アドヒアランスが悪くなり、重症低血糖による救急受診などが多くなる。本稿では、こうした「高齢者糖尿病の診療」の診療の質を高めるための実際的なやり方について概説したい。

認知機能障害を早期発見する

高齢糖尿病患者では認知症のみならず、認知症に至っていない軽度認知機能障害（MCI）が起こりやすい。この認知機能障害は記憶力障害だけでなく、実行機能、注意力、情報処理速度の障害が起こり、これがセルフケアの障害につながる。糖尿病で多い血管性認知症や高血糖に伴う認知機能障害では記憶障害が目立たずに、実行機能、注意力の障害が主体となることが多い。

この注意力や実行機能の障害と相関するのが、手段的ADL（手段的日常生活動作：IADL）の障害である。手段的ADLは高次のADLである交通機関を使つての外出、買い物、調理、金銭管理、電話の使用、服薬管理、約束、家の持ち物管理、電化製品の使用などが含まれる。このなかで買い物、金銭管理の障害が最もMCIを予測する。したがって糖尿病における認知機能障害を早期発見するためには物忘れに加えてIADL障害やうつ症状の質問を

することが大切である（図1）。外来で食事療法の話のなかで「買い物かできていますか？」や運動療法の際に「外に出ていますか？」「（電車で）どこまで出かけますか？」という質問を投げかけるとよい。

薬が余ることが多いなどのセルフケアの障害や外来の日を間違える、糖尿病の手帳や血糖測定記入用紙を忘れることが多い場合も認知機能障害が疑わしい。

上記の症状がある場合にMMSE、長谷川式知能検査、時計描画試験、MoCA-J、物忘れ相談プログラム、動物テストなどの認知症のスクリーニングのための検査を行う（図2）。

時計描画試験は注意力、実行機能などをみることができ、MoCA-Jは時計描画、trail-making test、図形模写などが含まれている。MoCA-JはMMSEよりも糖尿病患者の認知機能低下をみることができ¹⁾。

複数の認知機能障害に社会生活の障害が加わって初めて認知症と診断できる（図1）。取り繕い行動がある場合は、認知機能障害を気づきにくいので、家族から話を聞くことも必要になる。認知症と診断するためには神経内科、

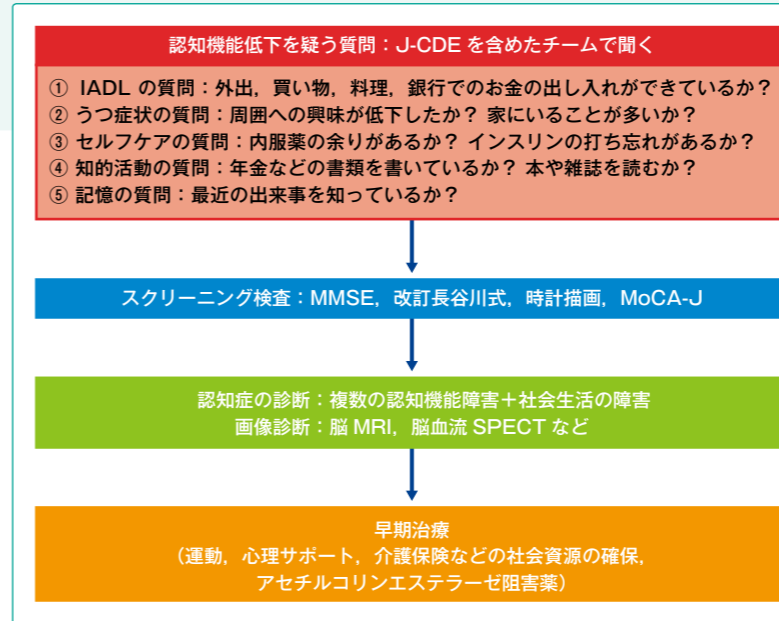


図1 認知機能低下の早期発見のために

① MMSE

今日は何年、何月、何日ですか？	年について	1.正答	0.誤答
	月について	1.正答	0.誤答
	日について	1.正答	0.誤答
今の季節は何ですか？		1.正答	0.誤答
今は、何時ごろですか？		1.正答	0.誤答
この病院があるのは、何県ですか？		1.正答	0.誤答
この病院があるのは、何市（町・村）ですか？		1.正答	0.誤答
この病院の名前は何かですか？		1.正答	0.誤答
ここは、何階ですか？		1.正答	0.誤答
ここは、何科ですか？		1.正答	0.誤答
これから言う3つの言葉を覚えてください。	りんご	1.正答	0.誤答
「りんご」(1秒後)「はきみ」(1秒後)「つくえ」	はきみ	1.正答	0.誤答
「つくえ」今、言った言葉を、順番に、言ってください。	つくえ	1.正答	0.誤答
(1回目で言えば正答とする。正答できなければ、すべて言えるまで、最大5回まで繰り返す)	繰り返す回数		0
計算(簡単)してください。100から、7を引くといくつですか？		1.正答	0.誤答
そこから、7を引くといくつですか？		1.正答	0.誤答
そこから、7を引くといくつですか？		1.正答	0.誤答
そこから、7を引くといくつですか？		1.正答	0.誤答
さっき(計算してもらった)覚えてもらった3つの言葉を、もう一度言ってください。	りんご	1.正答	0.誤答
(自動的に思いつけない時は、ヒントを与えてよい)	はきみ	1.正答	0.誤答
	つくえ	1.正答	0.誤答
(時計を見せながら)これは、何ですか？		1.正答	0.誤答
(時計を見せながら)これは何ですか？		1.正答	0.誤答
これから話す言葉を繰り返してください。「もしもつもらば山となる」		1.正答	0.誤答
私の言うとおりにして行ってください。「大きい方の紙を取ってください」		1.正答	0.誤答
	「それを半分に折ってください」	1.正答	0.誤答
	「それを床においてください」	1.正答	0.誤答
(裏面を見せて) この紙に書いてあることを、してください。		1.正答	0.誤答
何か文章を書いてください。(この紙の裏に文章を書いていただく)		1.正答	0.誤答
これと同じように書いてください(裏面)		1.正答	0.誤答
		合計	

23点以下が認知症疑い

② 時計描画テスト

実行機能、視空間機能、注意力をみる

③ MoCA-J

時計描画を含む

④ 符合 (WAIS-R)

注意力、精神運動速度をみる

⑤ 物忘れ相談プログラム

タッチパネル式で設問に答える

⑥ 動物テスト

言語流暢性をみる

図2 種々の認知機能検査